

2014 年度

## 第2回自然観察会

- ・日時 2014年9月20日(土) 10:00~11:30
- ・場所 広島県江田島市古鷹山ビオトープ
- ・参加者 24名
- ・主催 NPO日本ビオトープ協会中四国支部

2014年度第2回古鷹山ビオトープ「自然観察会」

1. 開催の挨拶・  
NPO日本ビオトープ協会の紹介  
講師の紹介：梶岡幹生(総合) 神垣健司(昆虫・樹木)  
野村公平(ビオトープ)
2. 観察会の実施要領について  
(観察会の注意事項、安全行動について、講師の紹介他)
3. ビオトープの周辺の生き物観察と解説
4. 水辺の生き物を採集と観察と解説
5. 参加者の感想と次年度の案内





ビオトープ内のミソハギ



引っ付き虫のコセンダンガサ



ヌカゴ



イタドリの花



水辺の生き物採集と観察



アケビの実を割って中を見る



ヨオイムシ・メダカ・ヌマエビなどを観察



アケビの食べ方について解説



3世代での観察中



スズメガの幼虫・葉と同じ色

## 2014年度第2回古鷹山ビオトープ「自然観察会」

2014年9月20日 10:00~11:30

場所：古鷹山ビオトープ

参加者：24名

### ◇古鷹山のビオトープの周辺の生き物観察

- ① アケビの実を取りこれが割れそうになると熟し、美味しく食べられます。  
アケビの薄皮を剥ぎ中にその中に肉を入れた「肉詰めアケビ」は美味しい。
- ② ジョロウグモの♀を見つけた。そのそばに♀の半分もない♂がいますと観察。
- ③ 「イタドリ」の花が咲いていた。これは通称かっぱんと言います。
- ④ 「エノキ」の木があり、この葉を食べに国蝶のオオムラサキが来ます。
- ⑤ ビオトープを見て、出来たら水面の半分位はオープンな方が生物にとって良い。
- ⑥ 「コナラ」の木があり、この樹液を吸いにカブトムシやクワガタが来ます。
- ⑦ 「イヌビワ」はイチジクの仲間です。イチジクは無花果とも書きます。花が咲きませんが、果のう（「実」に見える物）の中にイチジクコバチの仲間・イヌビワコバチが入り受粉をします。熟した果のうの中には沢山のイヌビワコバチが見られます。
- ⑧ ヤマノイモのムカゴを観察、それと種も観察。
- ⑨ 「ヒヨドリバナ」の花が咲いていました。これに来る「アサギマダラ」2000kmを旅する蝶・アサギマダラの生態についての話がありました。

### ◇古鷹山のビオトープの水辺の生き物採りと観察・採集した生き物

- ① タイコウチ
  - ② コオイムシ
  - ③ ヒル
  - ④ メダカ
  - ⑤ ドジョウ
  - ⑥ ツチガエル＝イボガエル
  - ⑦ トノサマガエル
  - ⑧ スマエビ
  - ⑨ シオカラトンボのヤゴ などを採集して観察、説明あり
- \*最後にスズメガの幼虫の観察もする、まるで枝葉のようでした。

以上

2014年9月20日

古鷹山ビオトープ「自然観察会」参考写真



アケビの実



イタドリ・カッポン



ジョロウグモの♀ (大) ♂ (小)



エノキと国蝶・オオムラサキ



ヤマノイモ・ムカゴの種



イヌビワの葉と花蕾 (無果花)



コナラとカブトムシ・クワガタムシ



ヒヨドリバナと旅する蝶アサギマダラ